

### “積み上げる数字統計とは何んぞ”

統計という言葉は一般に統計数字の意味に用いられることが多い。また統計方法や統計方法を研究する統計学としての意味もある。統計とは何か、一言に言えば、われわれの周囲の変動している集団現象を観察してこれを数字の形にまとめたものである。ここで集団とは、ある共通性をもつた個体の集まりであり、普通統計数字で記述される必要のあるものは具体的な集団であつて、統計集団の存在を規定するものは、時間（時点、期間）、空間（場所）、属性（標識）の三面から規定されている。

### “静態と動態の意義確しかめる”

統計を取り扱ううえで、静態統計とか、動態統計という用語がでてくる。統計集団の存在を規程するとき、時間的な規定として時点と期間による場合がある。ある集団が時点で規定されるか、期間で規定されるかによつてその集団が、静態集団（線集団）、動態集団（点集団）とよばれ、それぞれの集団のもつている量を静態量（貯量、貯え）あるいは動態量（流量、流れ）という。たとえば人口集団をある時点で調査する国勢調査の如きものは静態統計、出生とか死亡のように期間で調査されるものは動態統計である。

### “統計の精度あれこれと吟味”

統計調査が、集団の計測操作の一つであるかぎり、その結果の統計数字には必ず誤差があるといわれる。すべての計測操作には、その計測操作に固有の精度があつて、その精度が良ければ誤差は小さくなり、精度が悪ければ誤差が大きくなるのは当然である。統計調査も、われわれ人間の行なう計測操作の一つである限り必ず誤差があるわけで、その誤差をもつとも小さくするために統計調査の企画設計の段階で精度ということが考えられる。誤差には偶然的な誤差（原因が明瞭でない事情によるもの）組織的誤差（測定者の特質、測定器具、測定方法）、不注意によるもの（数字の読み違い、書き違い）などがあり組織的、不注意による誤差は調査者、調査されるものの細心の注意によつて防げるものである。

### “鯉のぼり日本男子ここにあり”

五月晴れの空をバツクに鯉のぼりが、緑の風を腹一杯に喰べて泳いでいる。端午の節句は従来旧歴の5月5日男の子のお祝として行なわれたものであつたが、現在で

は太陽歴の5月5日が子供の日と制定され、昔からの行事はこの日に行なわれるようになった。男の子の生まれる割合は、普通女子100人に対し103人で、男の子が多く生まれることになる。本県の昭和40年の出生数は35,371人で男は18,032人であり女子100に対し104人、昭和41年はひのえうまのため出生数は25,837人と極端に少なかつたが、男子は13,391人性比は大数の法則に従つて女100に対し107人と高い率を示している。

### “地震また平和な郷土を襲う”

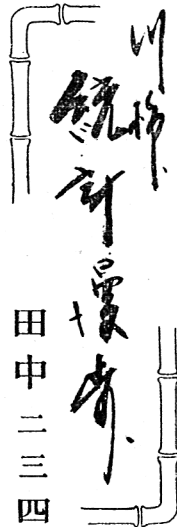
海に囲まれた四つの島の宿命が、天災という自然の働きで大地を振動させ、無惨にも私達の平和なくらしを一瞬にして奪い去つてしまふ。5月16日東北、北海道を襲つた十勝沖地震は、マグニチュード7.8を記録し、多数の人命を奪ひ、建物や道路、鉄道などに大きな被害を与えた。マグニチュードというのは、地震の大きさを表わす単位で光にたとえれば、光源の強さに当るような。これに対して震度とは、その土地土地の地震を感じる程度を示す。光でいえば、光源から光を受けた面の明るさに当たるということだそう。

### “パリ会談開始平和が待っている”

いつ止むかわからないベトナム戦に平和をもたらそうとする米、北ベトナム会談が、5月10日からパリで開かれた。全世界の注目を集めているベトナムの激斗が、一日でも早く解決して地球に本当の平和が訪れるか。両国ともそれぞれの言い分はあろうしすんなりと解決できるだろうか。

### “田植笠呼べばみんながふり返る”

5月は田植のシーズンである。近ごろは農業技術も進んで最近では1カ月も早く行なわれるようになり農作業が非常に楽になつたそう。以前であるところちようど麦の収穫期と一諸になつてこの時期はテンヤワンヤを繰り返したものである。ただ農村の労働力不足は現在の田植期にも影響して近所同志のよいなどによるものが多いとか。昨年2月1日で調査した本県の水田面積は96,428ヘクタールで、一農家当り約1ヘクタール。米価は政府保証により大きな収入源であり、陸田が増加しているこの面積42年耕作予定地5,365ヘクタールに及んでいる。



69

× × ×  
× × ×



## 第19回全国統計大会開催要領

- 1 主催 財団法人全国統計協会連合会  
岐阜県 岐阜市 岐阜県統計協会
- 2 後援 愛知県 三重県 富山県 石川県 名古屋  
市
- 3 協賛 総理府統計局 行政管理庁 経済企画庁  
文部省 厚生省 農林省 通商産業省  
運輸省 労働省 建設省 自治省 日本  
国有鉄道 経済団体連合会 全国農林統  
計協会 日本統計協会 厚生統計協会  
東海ブロック各県統計協会
- 4 期日 昭和43年10月7日（月）8日（火）
- 5 場所 岐阜県美江寺町 岐阜市民会館  
（大会場 統計グラフ展示会場）
- 6 参加者 各省庁および全国都道府県、市町村統計  
関係者ならびに全国統計協会連合会関係  
者
- 7 行事 ○ 第16回統計グラフ全国コンクール入  
賞作品展示会（10月7日8日）  
○ 統計大会（10月8日）
  - (1) 統計調査事業に功績のあつた個人  
および団体の表彰
  - (2) 大内賞の授与
  - (3) 統計グラフ全国コンクール入賞者  
の表彰
  - (4) 統計思想と統計技術の普及向上に  
ついて審査し、必要事項を関係方  
面へ要望する
  - (5) 統計関係者の決意を内外へ宣言す  
る
  - (6) 統計従事者の研究発表
  - (7) 記念講演
- 8 大会事務局の設置  
本大会の準備および実施のため、第19回統計大会事  
務局を岐阜県企画部統計課内に設置する。  
第19回全国統計大会次第（10月8日）
  - 8時30分 受付開始
  - 9時30分 開会あいさつ
  - 1 表 彰
  - 2 祝辞および祝電披露
  - 3 受賞者代表謝辞
  - 4 議 事
  - 5 講 演
  - 6 休 憩（昼食）

## 統 計 調 査 の 紹 介

### 農畜産物統通調査

この調査は、昭和43年度度県統計調査事業の一つで、6月1日に実施された。

調査は、農畜産物の移出入の経路、流通過程をとらえて、農業行政あるいは経済計画遂行の基礎資料を得るものです。

主な解明事項としては、

- 各地域間における農畜産物流通の相互関係、依存度合の明確化
- 計画生産、計画販売の資料あるいは予測資料の入手
- 企業立地、新市場開拓の基礎資料の入手
- 時期別、地域別の価格形成の資料を得るなどとなっています。